

大台ヶ原地域におけるニホンジカによる森林被害対策 ～自然再生推進モデル事業（三重県・大杉谷国有林）～

1 趣旨

昭和30年代に伊勢湾台風等大型の台風の影響で、三重県と奈良県の県境に位置する大台ヶ原一帯のトウヒ・ウラジロモミ等の亜高山性針葉樹が大量に倒れました。

その影響で、林内に多量の光が入り込み、ニホンジカの好適環境となるミヤコザザが急速に出現し、ニホンジカが増加し始めました。

現在、増えすぎたニホンジカとその他の複合的な要因により森林の衰退が進んでいます。

このため、近畿中国森林管理局箕面森林環境保全ふれあいセンター、三重森林管理署は、環境省、三重県、奈良県、関係市町村、NPO等と連携して実証試験を行い、「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針(仮称)」を作成します。あわせて、ニホンジカによる森林被害地における森林の再生及び保全のためのモデル事業を実施します。



【大台ヶ原地域の森林衰退状況】

2 実施内容

(1) 「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針(仮称)」の作成
森林被害実態調査及びニホンジカの生息密度調査。

有識者等によるワーキングチームの設置

- ・現況把握のための調査内容の検討、調査結果の検証
- ・被害対策指針の検討
- ・森林生態系の保全と再生事業内容の検討

などを行う。(年2回程度の会合を実施)

大台ヶ原・大杉谷地域に関係する行政機関相互の緊密な連絡と調整。

(「大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議」に参画)

(2) 森林の再生及び保全のためのモデル事業

NPO等との連携の推進

- ・NPO法人「森林再生支援センター」と共同試験地の協定を締結。
- ・大杉谷を含む地域で環境教育プログラムを提供している団体と連携し、「モデル事業」実施箇所を活用した自然環境学習等のプログラムを検討。

NPO、一般公募のボランティア参加によるラス巻き及び防鹿ネット設置・補修

- ・樹皮剥ぎ防止のための、樹木への金網巻き。
- ・稚幼樹の食害を防止のためのパッチ状の防鹿ネットの設置。

3 事業実施主体等

(1) 主 体：箕面森林環境保全ふれあいセンター、三重森林管理署

(2) 連携先：環境省、三重県、奈良県、関係町村、大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議、大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会、NPO法人「森林再生支援センター」、NPO法人「大杉谷自然学校」

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：大藏
TEL：050-3160-6729